



## NPO 法人

### 茨城県防災士ネットワークだより

発行日 平成28年3月吉日

発行元 特定非営利活動法人

茨城県防災士ネットワーク

責任者 広報・機関紙部長

加瀬孝雄

#### 1. NPO 法人 茨城県防災士ネットワーク設立10周年記念式典の開催

茨城県防災士ネットワークでは、平成28年2月13日(土)、水戸市大工町のフロンティア水戸「トモスミと」において、設立10周年記念式典を開催した。式典には、会員42名が参加。開催にあたり、来賓として茨城県生活環境部参事兼防災・危機管理局防災・危機管理課長大高均氏から「防災士への期待とボランティア活動への謝意」等のご挨拶を頂いた。



「大高防災・危機管理課長」

また、特定非営利活動法人 日本防災士会 浦野修理事長からは、「発足当時、防災士の認知度は低く理解されなかった。昨年11月に、防災士認証者数は、10万人を越えるまでに成長した。国会において国の位置付けがされ話題となり、防災白書に新しい公共の仕事として認知された。官民一体となって、災害で貴い命が失われないような減災社会の構築に向け、過去の歴史を学び、スキルアップを重ねたい。また、災害大国日本で、地域防災力の強化に努め、防災協働社会の実現に寄与した活動を通じ、貴い人命、財産を守り抜き、さらなる10年への礎を刻んで参りたい」とのご挨拶を頂いた。交流会で、北関東連絡協議会 会長 栃木県防災士会理事長 稲葉茂氏のご挨拶を頂いた。

#### 2. 同法人設立10周年記念講演

気象庁水戸地方気象台 防災気象官 辻本嘉大氏から「昨今の異常気象と気象災害・・・防災情報の利用と活用」について講演があり、

○ 2015年 世界の異常気象

○ 平成27年9月 関東・東北豪雨

等の集中豪雨による甚大な被害への対応についての

概要説明があった。また、近年、1時間に50ミリ、80ミリ以上の豪雨が統計上も増加傾向にある。このため、観測を強化し、迅速な通報を行っている。異常気象とは、「過去30年の気候に対して著しい偏りを示した天候」と定義している。

等のご講話を頂いた。



「茨城県防災士ネットワーク10周年記念撮影」

#### 3. 全国防災士10万人記念大会が盛大に開催

平成28年3月1日(火)東京都千代田区永田町、憲政記念館において「防災士10万人記念大会」が開催され、当ネットワークからも多数参加した。

阪神・淡路大震災の教訓の伝承と民間の力の結集による地域防災力の強化を目指し平成14年に結成された日本防災士会は、自助、共助、協働を活動の基本理念として全国的に展開され、本年1月、全国で105,146名の認証者数となった旨の報告があった。

来賓の挨拶では、安倍総理大臣(代理)、高市総務大臣(代理)、河野内閣府特命大臣(防災担当)の挨拶やメッセージが朗読された。記念講演では、群馬大学 片田敏孝教授による「災害に向き合う力“釜石の奇跡に学ぶ”」と題しての講和があり、また愛媛県中村知事より「防災士に期待するもの」と題した講話があった。

#### 4. 自主防災組織と企業の防災訓練(可搬式消防ポンプの共同使用)

水戸市住吉上防災会では、本年2月6日(土)役員10名が、地元企業(社員70人)の所有する可搬式小型消防ポンプの定期点検に合わせ、消防ポンプの操法訓練を行った。この訓練には、当ネットワーク会員である加

瀬孝雄防災士も参加し、企業の幹部社員(消防分団歴20年)から、可搬式消防ポンプのエンジン始動、吸水要領、放水レバー、高気圧の筒先ホースの安全な扱い方等の丁寧な、分かりやすい説明を受けた。役員の多くが筒先にかかる6~7気圧のホースに緊張しながら足腰に力を入れ、本番さながら、放水を行なった。この訓練により、イザというときに役立つと確信が持てた。阪神・淡路大震災のような大規模災害時、同時多発火災が発生した際は、自主防災組織と事業所の連携で被害拡大を阻止できる最大の減災・防災効果が得られることが期待される。



なお、事業所と自主防災組織は、可搬式消防ポンプの共同使用について覚え書を交わし定期的な訓練の実施と災害対策本部を設置するような大規模災害発生時には、協力関係が円滑に図られるよう文書による協定を結んだ。このように地域と事業所、ボランティア等が一体となって訓練できるような組織づくりが今後も重要であると考えます。

## 5. 常北中2年生(143人)対象の避難所運営ゲーム訓練

平成28年2月12日(金) 城里町立常北中学校において、2年生対象に24グループに分けHUG研修を行った。想定では、震災で家屋の倒壊等で午後4時以降100人近くが運動場に次々と避難してきている。中には、怪我人、要配慮者、ペット連れなどの避難者がきていることを想定して各グループ内で討議し、チームワークで難題にチャレンジした。この訓練を通じ、疑似体験することによって、助けられる人から助ける人となることを学び、また、中学生の行動力が避難者の心の支えとなることを学んだ。

## 6. 水戸市主催のシェイクアウト\*訓練に参加



防災連合会長の挨拶

平成28年2月2日(火)、吉田地区防災連合会では、水戸市立吉田小学校において、同校の6年生130人と共にシェイクアウト訓練を実施した。なお、この訓練は同市主催の「いっせい防災訓練」と共催で行ったものである。

地域と学校との連携による防災力強化推進事業の一環としての訓練であるが、児童の「自分の身は自分で守る安全行動」を始めとする訓練を行った。この訓練により防災に対する知識技能を高め、学校との連携による協働のあり方も実践でき訓練全体では、シェイクアウト訓練の他、安否確認、避難訓練、災害時要配慮者救出・搬送訓練、初期消火訓練、応急手当訓練、非常食の作り方と試食等が行われた。また、防災士ネットワーク会員により簡易ベットや、新聞紙を使ったスリッパの作り方等の防災グッズの作り方を指導した。

※シェイクアウト :カリフォルニア州で考えられた造語で「いっせい防災訓練」と訳される。

その内容は、災害発生時に各個人が、職場、家庭、学校等、それぞれの場所で「自分の身を守る行動」をとることにあり、具体的には「頭を守り、まず低く、動かない」といった3つの安全行動を行うことにある。

なお、本訓練には、吉田小学校、市地域安全課、地区自治実践会、市民センター、市消防本部消防第8分団、町内会長会、茨城県防災士ネットワーク、女性会、婦人防火クラブ高齢者クラブ連合会等、19団体が参加した。

## 7. ひたちなか市の男女共同参画講座

平成28年1月19日(火)ひたちなか市文化会館で男女共同参画講座～女性も参加する防災において「ワークショップ HUG 避難所運営ゲーム」を開催した。組織づくり、部屋割り、名簿の作成、避難所運営本部の設置、問い合わせの対応、ゴミ、ペット、トイレ、ボランティア受け入れ等について具体的な対応について討議した。中でも、災害時要配慮者への対応では、女性の視点から洗濯干し場、授乳室、場所の確保、パーテーションによる仕切り等へのきめ細かい気づきもあり、女性に対する配慮が必要であることなどが討議された。



## 8. 各種講演会・研修会の実施

### (1) 茨城県関係(茨城県生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課)

内 容	開 催 場 所	講 師 等
自主防災組織リーダー研修会	つくば市、笠間市、鹿嶋市の3会場	横田信子、福島末輝、高橋茂、他

## (2) 学校関係

前号掲載以降に行われた各種講演会等における講師は、以下の通りである。(敬称略、順不同)

講演内容	対象団体名	参加会員氏名
児童、生徒を中心とした防災教育	かすみがうら市立七会小学校	福島末輝、岡田洋司、宮本博海、鶴長文正
	つくば市立並木中学校	西村正夫
	茨城県立水戸特別支援学校	加瀬孝雄
	結城市立城南小学校	安東正好、鈴木勇
	茨城県立水戸特別支援学校	加瀬孝雄
	土浦市立都和中学校	福島末輝、宮本博海
	つくば市立葛城小学校	若林美智子
	稲敷市立沼里小学校	石引公子、黒田一雄、福島末輝
	土浦市立第五中学校	横田信子、福島末輝
	守谷市立愛宕中学校	猪塚光彦、齋藤友孝
	茨城県立境特別支援学校	安東正好、西村正夫、鈴木勇
	茨城県立茨城東高校	志村謙一、加瀬孝雄
	古河市立三和北中学校	藤井仁、鈴木勇、安東正好

## (3) 自治会、自主防災組織、社会福祉協議会関係

前号掲載以降に行われた防災講演は、以下の通りである。(敬称略、順不同)

内容	対象団体名	講師等
女性も参加する防災を学ぶ (HUG)	ひたちなか市女性生活課	益子さや子、柴田美智子、林昌子、柴沼雅子、加瀬孝雄、深澤幸子
避難所開設訓/HUG	笠間市社会福祉協議会	志村謙一、加瀬孝雄
避難所開設・運営/講演	五霞町学校防災推進委員会	安東正好、鈴木勇、西村正夫
ジュニア防災スクール	ひたちなか市おや子劇場ゆめひろば	柴田美智子、益子さや子、阿久津聡
ボランティア要請講座	北茨城市社会福祉協議会	益子さや子、永瀬昭男
避難所開設と運営	牛久市 小・中学校教職員防災研修会	中村隆、横山松夫
避難所運営訓練 HUG	常北中・城里町社会福祉協議会	飯田士郎、大内洋治、飛田昭、寺門淳子、豊崎吉光、加瀬孝雄
地域防災研修会	城里町立七会小学校防災連絡協議会	志村謙一、皆川泉、西村正夫

## (4) 学校防災推進委員会等の避難所開設訓練

前号掲載以降に行われた防災訓練における参加状況は、以下の通りである。(敬称略、順不同)

講演内容	対象団体名	参加会員
災害図上訓練 (DIG)	利根町教育委員会学校教育課	石引公子、間宮和光、鶴長文正、澤田孝一、野村彰、黒田一雄、中村隆、福島末輝、西村正夫
発災時、教職員の具体的行動、日常の備え等	結城市学校防災推進委員会研修会	安東正好、鈴木勇
学校講演会と実技、DVD鑑賞	大子町学校防災推進委員会	長屋和宏、益子さや子

## (5) 防災訓練への参加

前号掲載以降に行われた防災訓練における参加状況は、以下の通りである。(敬称略、順不同)

内 容	対 象 団 体 名	参 加 会 員
水戸市シェイクアウト	吉田小学校（水戸市）	横田信子、柴田美智子、石引公子、加瀬孝雄、

## 9. NHK おしえて防災士コーナーの出演報告

昨年に引き続き、NHKからの依頼があり、4月から実施中です。前号（第013号）以降に放映された内容と出演者は以下のとおり

### 2月・雪の対策してますか



なお、昨年4月からの上記放映に関しては、NHK水戸放送局ホームページの「おしえて防災士コーナー」にアップされているので、そちらを参照されたい。

田中 寿防災士

## 10. エフエムかしま市民放送「安全・安心教室」のコーナー

第22回までについては、既報・防災士だより 第13号を参照されたい。

	月別テーマ	担当者	収録日	回 数	内 容
1月	冬の防災	県南央エリア長 横山 松夫	1/12	第23～26 回	災害とボランティア（阪神大震災から21年） 他
2月	災害に備える	女性防災士 石引公子	2/2	第27～30 回	大地震に備える、外出先で地震に遭遇した 他
3月	東日本大震災 から5年	女性防災士 益子さや子	2/29	第31～35 回	災害発生と家族の安全～避難場所を話合しましょう 他

### 女性紹介コーナー

NPO 法人茨城県防災士ネットワーク 守谷ブロック 川村玲子

2011年に起きた東日本大震災の翌年の2012年8月に防災士の資格を取りました。以前防災科学技術研究所に勤務していた経験もあり、災害には関心がありました。その影響もあって2007年から現在に至るまで、地元の自主防災会の役員をやらせて頂いています。他の2名の防災士の方たちと共に、年一回の地元での防災訓練を実施し、防災組織への意識の向上に取り組んでおります。一昨年から守谷市内の小中学校からの依頼を受け計4校で防災教室を開催、児童、父兄とともに災害の知識や災害時の行動力を身に付ける等の啓蒙も行いました。

### 常総市の水害被災者の支援活動

NPO 法人茨城県防災士ネットワーク 専務理事 中村 隆

台風18号による豪雨災害では、鬼怒川東側の若宮戸地区で堤防の越水が発生し6時間20分後、三坂町では堤防が決壊し、甚大な被害が発生した。このため「NPO 法人日本防災士会」及び「茨城県防災士ネットワーク」では、9月13日事前視察を行い、被災地支援ボランティアを募集し、第一次派遣（9月23日（水））、第二次派遣（9月27日（日））の2日間延べ102名（本県37名）を常総市へ「被災地支援ボランティア」を派遣した。

作業時間は、午前10時から午後3時までの間、作業内容は、床下はがし、床下の汚泥の掻き出し、ごみ袋へ詰め込み、床下消毒清掃、ガラス戸、サッシ、柱、廊下等の清掃、ウォータージェット洗浄機による作業等数多くの作業が待っていた。実施に当たっては、ボランティア活動の「心得、注意、ケガ対応」や「東日本大震災 災害支援活動 申し合わせ事項」を遵守した。被災者の心情をくみ取り、被災者に寄り添う、ボランティア活動を組織的に展開し、他機関と連携を強化し、意欲的な奉仕作業を行った。今後の生活不安の中、そん



な被災者からボランティア活動に労をねぎらう「有難う、助かるよ」の感謝の言葉を頂き、疲れを吹き飛ばす力を感じた。また、危険な現場で約100名のボランティアが2日間の作業で、事故、怪我等が無かったことは、幸いであった。

## ◎参考資料の紹介

「災害史に学ぶ」： 内閣府中央防災会議:災害教訓の継承に関する専門調査会編 ～海溝型地震津波編～

この資料は、理工学系の専門家に人文・歴史系の専門家並びに災害の「語り部」の人材も加わり、かつ当時の社会的背景にまで踏み込んで調査した渾身作と言えます。

なお、本資料は、インターネットで検索ができ、内閣府生活統括官(防災担当)が運営するポータルサイト(Team 防災ジャパン)に掲載されています。…スキルアップ等に活用して下さい。

## ◎今後のイベント案内

### (1) 平成28年度 NPO 法人茨城県防災士ネットワーク通常総会開催

ア 開催日時 平成28年4月24日(日)午前9時30分から正午

イ 開催場所 水戸市福祉ボランティア会館 ミオス JR 赤塚駅より徒歩1分

住 所 水戸市赤塚1丁目1番地 電話 029-309-1001

その他 平成28年度会費納入について、本年度も総会ご出席の折、年会費(1,000円)お受け致します。送金手数料等の節約にもなりますので、御理解とご協力をお願い致します。

### (2) 平成28年度 北関東連絡協議会総会

ア 開催日時 平成28年4月23日(土)午前11時分から正午

イ 開催場所 栃木県職員会館「ニューみくら」

住所 栃木県宇都宮市昭和1-3-6 電話 028-622-1093

・共通点

① 通信用はがきに各項目記載の上、「4月15日(金)」までに返送願います。

② また、欠席の方は、委任状欄にも、署名・押印をお願い致します。

## ◎市町村の防災担当課の皆様へ

NPO法人茨城県防災士ネットワークでは、防災講演会や研修会の講師、DIG(災害図上訓練)やHUG(避難所運営ゲーム)、防災マップづくりなどの指導も行っております。

講師をお探しの場合は、下記までご連絡ください。

窓口：福島 末輝 (役職 副理事長(兼)企画・研修部長) TEL: 029-842-1823(自宅・FAX 兼用)

住所：〒300-0842 土浦市西根南1-12-44

メールアドレス: [sueki-f@jcom.home.ne.jp](mailto:sueki-f@jcom.home.ne.jp)

## 会員の皆様へお願い ;

「関東・東北豪雨による鬼怒川決壊に思うこと」や「常総市へのボランティア活動体験」を会員皆さんに募集しています。原稿は、400～500字程度でお願いします。

・送付先 : 〒310-0844 水戸市住吉町15-3 加瀬 孝雄 宛

・Eメールアドレス: [abcd25621@yahoo.co.jp](mailto:abcd25621@yahoo.co.jp)

・Tel(Fax 共) :029-248-1097